

あなたの胃はどのタイプ？

ABC 分類で

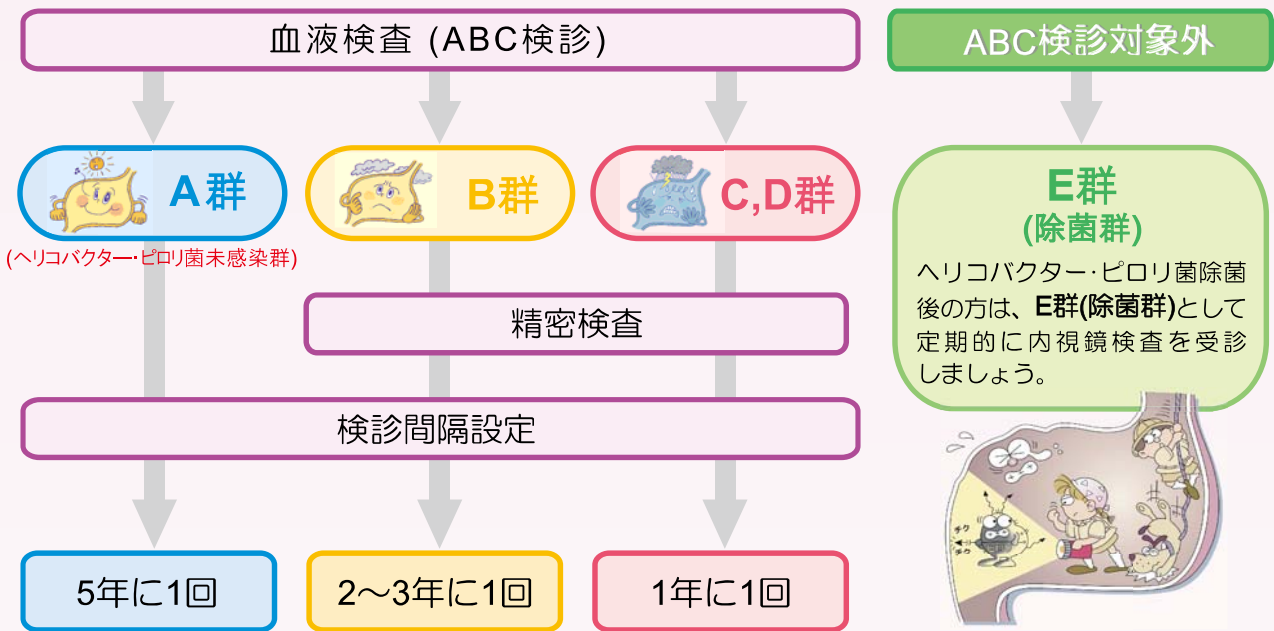
胃の健康度チェック!!



ABC 検診は、『胃の健康度』に応じて検診間隔を設定することができます。A 群 (ヘリコバクター・ピロリ菌に感染したことがない) なら 5 年に 1 回の検査、B 群であれば精密検査を受診し、問題がなければ 2 ~ 3 年に 1 回の検査、C, D 群ならば精密検査を受診し、問題がなければ 1 年に 1 回の検査を実施するという検診方法です。ただし、ヘリコバクター・ピロリ菌除菌後の方は、E 群 (除菌群) とし、ABC 検診対象外として定期的に内視鏡検査を受診することをお勧めします。

ABC 分類

フローチャート



ペプシノゲン法(PG法)と H.pylori 抗体価によるABC分類

ABC分類		H.pylori 抗体価	
		(-)	(+)
PG法	(-)	A群	B群
	(+)	D群	C群

A群 : PG 法 (-), H.pylori 抗体価 (-)

B群 : PG 法 (-), H.pylori 抗体価 (+)

C群 : PG 法 (+), H.pylori 抗体価 (+)

D群 : PG 法 (+), H.pylori 抗体価 (-)

- A群** 健康的な胃粘膜です
- B群** 少し弱った胃粘膜です
- C群** 弱った胃粘膜です
- D群** かなり弱った胃粘膜です

ペプシノゲン法とは？



「ペプシノゲン」という物質の血中濃度を測定することで胃粘膜の老化(萎縮)の状態を客観的に調べる検査です。

ヘリコバクター・ピロリ抗体価検査とは？

胃がヘリコバクター・ピロリ菌に感染していないかを調べる検査です。

ABC検診の結果報告例

A群 健康的な胃粘膜です

胃の病気になる可能性は低いと考えられます。念のため、5年に1回は内視鏡検査を受診しましょう。

B群 少し弱った胃粘膜です

消化性潰瘍に注意しましょう。少数ながら胃がんの可能性も。一度、内視鏡検査を受診しましょう。また、異常が見つからなくても、2~3年に1回は内視鏡検査を受診しましょう。

C群 弱った胃粘膜です

胃がんなどの病気になりやすいタイプです。一度、内視鏡検査を受診しましょう。また、異常が見つからなくても、定期的な内視鏡検査をお勧めします。

D群 かなり弱った胃粘膜です

胃がんなどの病気になるリスクがあります。かならず、内視鏡検査を受診しましょう。また、異常が見つからなくても、毎年、内視鏡検査を受診しましょう。

ABC検診と胃がんとの関係

ABC分類グループ別の胃がん発見頻度
—同じ日の上部消化管内視鏡検査で発見された胃がん—¹⁾

		<i>H.pylori</i> 抗体価	
		陰性	陽性
PG法	陰性	A群 0% (0/2,802)	B群 0.21%* (7/3,395)
	陽性	C,D群 1.87% ** (39/2,089)	

** : p<0.01 (v.s. A群, B群) * : p<0.05 (v.s. A群)

- A群からは胃がんが発見されていません。
- C,D群からは高率に胃がんが発見されました。
- PG法(陰性)・*H.pylori*抗体価(陽性)のB群からも胃がんが発見されています。

H.pylori 菌の感染と疾患



参考データ 1) 松江赤十字病院データ

監修：川崎医科大学 総合臨床医学 井上和彦